

事務事業名		大船渡新春四大マラソン大会運営支援事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画掲載事業			
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目			
	施策名	29 生涯スポーツの振興							
	基本事業名	03 スポーツ・レクリエーション活動の振興							
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 S27? 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		会計 01 款 10 項 06 目 01 事業 02			
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課							
	課長名	江刺雄輝							
	係名	体育振興係	電話 27-3111						
	担当者	及川 悠輔	内線 273						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
・10マイルロードレース岩手県大会、10キロロードレース岩手県大会、岩手県南地区駅伝競走大会、岩手県南地区中学校対抗駅伝競走大会の四大会を1月に開催する。 ・市の事務は、主催団体の一員として大会実行委員会(事務局:大船渡市体育協会)への参加、コース設定に係る警察折衝、実行委員会事務局の運営補助、当日の大会運営全般へ携わる。 ・事業費は、大会実行委員会への補助金である。				総投入量(千円)	国庫支出金				
					都道府県支出金				
					地方債				
					その他				
					一般財源				
					事業費計(A)		0		
				正規職員従事人数					
				延べ業務時間					
				人件費計(B)		0			
				トータルコスト(A)+(B)		0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 募集要項発送数</td> <td>通</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 募集要項発送数	通	イ		ウ	
名称	単位								
ア 募集要項発送数	通								
イ									
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動)									
前年度と同じ。									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
県内マラソン・駅伝愛好家 県内の中高生	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 募集要項発送数(一般対象)</td> <td>通</td> </tr> <tr> <td>キ 県内中学校・高校数</td> <td>校</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 募集要項発送数(一般対象)	通	キ 県内中学校・高校数	校	ク	
名称	単位								
カ 募集要項発送数(一般対象)	通								
キ 県内中学校・高校数	校								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
参加者が増加し、マラソン競技の普及拡大が図られる 中高生の体力づくりが促進される	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 大会申込者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ 上記のうち市外からの参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 大会申込者数	人	シ 上記のうち市外からの参加者数	人	ス	
名称	単位								
サ 大会申込者数	人								
シ 上記のうち市外からの参加者数	人								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
スポーツ・レクリエーションが活発に行われる。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																									
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">投入量</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>400</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>960</td> <td>960</td> <td>960</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>2,160</td> <td>2,160</td> <td>2,160</td> <td>2,800</td> <td>2,800</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>通</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>通</td> <td>350</td> <td>350</td> <td>350</td> <td>350</td> <td>390</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>校</td> <td>284</td> <td>288</td> <td>259</td> <td>186</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>人</td> <td>2226</td> <td>2714</td> <td>2584</td> <td>2577</td> <td>2600</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>人</td> <td>1984</td> <td>2230</td> <td>2328</td> <td>2295</td> <td>2400</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		年度	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)							投入量	国庫支出金	千円						都道府県支出金	千円						地方債	千円						その他	千円						一般財源	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	事業費計(A)	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	2	2	延べ業務時間	時間	240	240	240	400	400	人件費計(B)	千円	960	960	960	1,600	1,600	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,160	2,160	2,160	2,800	2,800	⑤活動指標	ア	通	700	700	700	700	750	イ							ウ							⑥対象指標	カ	通	350	350	350	350	390	キ	校	284	288	259	186	183	ク							⑦成果指標	サ	人	2226	2714	2584	2577	2600	シ	人	1984	2230	2328	2295	2400	ス						
年度	単位			23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																
投入量	国庫支出金	千円																																																																																																																																																							
	都道府県支出金	千円																																																																																																																																																							
	地方債	千円																																																																																																																																																							
	その他	千円																																																																																																																																																							
	一般財源	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200																																																																																																																																																		
	事業費計(A)	千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200																																																																																																																																																		
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	2	2																																																																																																																																																		
	延べ業務時間	時間	240	240	240	400	400																																																																																																																																																		
	人件費計(B)	千円	960	960	960	1,600	1,600																																																																																																																																																		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,160	2,160	2,160	2,800	2,800																																																																																																																																																		
⑤活動指標	ア	通	700	700	700	700	750																																																																																																																																																		
	イ																																																																																																																																																								
	ウ																																																																																																																																																								
⑥対象指標	カ	通	350	350	350	350	390																																																																																																																																																		
	キ	校	284	288	259	186	183																																																																																																																																																		
	ク																																																																																																																																																								
⑦成果指標	サ	人	2226	2714	2584	2577	2600																																																																																																																																																		
	シ	人	1984	2230	2328	2295	2400																																																																																																																																																		
	ス																																																																																																																																																								

事務事業ID	1008	事務事業名	大船渡新春四大マラソン大会運営支援事業
--------	------	-------	---------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和27年に県南地区駅伝競走大会が開催され、その後、三大大会が追加された。平成13年に10マイルロードレースが50回を数えたことを契機として、これまで開催してきた四大大会（10マイルロードレース・10キロロードレース・県南地区駅伝競走・県南地区中学校対抗駅伝競走）を総称して新春四大マラソンと称し、以後岩手県陸上競技界の新年を飾る行事として定着している。	
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・平成18年度からの指定管理者制度の導入に伴い、本大会の運営を指定管理業務とし、その受託者である大船渡市体育協会が大会事務局業務を行っている。 ・10マイルロードレースについて、50回を契機として、ハーフマラソン大会へ移行したが、参加者数の減少及び交通事情への影響に伴い、平成18年度より10マイルロードレースへ戻した。 ・大会運営が困難となってきたことから、駅伝の出場チームの制限を中学校3チームから、一般・中学校ともに2チームまでとし、参加料を値上げした。(平成19年度から) ・記録集計の迅速化及び競技役員配置の効率化を図るため、平成19年度の大会から一部においてRCチップによる記録集計の自動化を図った。21年度はさらに集計の正確性を期すため、RTタグを使用した。 ・スタート・ゴール地点を開発産業前とし、選手が走りやすいように、コースを一部変更した。(平成21年度) ・平成24年度から駅伝出場チームの制限を撤廃した。	
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 警察署より、主要な交差点等については、制服警備員を配置し、安全対策を強化するよう求められている。 コースについて10.6kmから10kmになるように設定することを要望されている。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>平成26年度大会では、昨年比で申込者が減少した。走路の安全確保を徹底するなど、おおむね順調に大会が運営された。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>大会の効率的な運営に努める。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>更に多くの参加による盛大な大会とするため、更なるPR・周知を図る。 また、震災により公認コースの再設定も要するとともに、大会開催における安全確保対策の徹底は年々重要視されていることから、大会を盛り上げつつ、安全確保を図るため、大会運営にかかる費用の増大も課題の一つである。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	生涯学習課長	江刺雄輝
---------------	-------	--------	------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>		<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>概ね適切な事務事業執行がなされている。 参加者の安全対策に更に取り組む。</p>																				
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>継続して事務事業を実施する。コースの主要交差点等に制服警備員の配置を増やし安全面の向上を図る。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			●																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
